

時事新報

第二千六百三十八號
 明治廿三年四月廿八日(己卯)
 三月十日
 日山午四時五十分
 日入午六時三十分
 月出午十一時三十分
 月入午十一時三十分
 日入午十一時三十分
 日入午十一時三十分
 (西曆一千八百九十年)

時事新報定價

時事新報一年三百六十五日一日休刊セズ其代價運送送料廣告料ハ左ノ如シ

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

時事新報廣告料前金

一行	二行	三行	四行	五行	六行	七行	八行	九行	十行
一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新聞代價一箇月前金入額にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便紙の代價を申受可し

時事新報

商業家の眼界

金は利子の高さ處より向て動き物品は善き價より従て移り商業上の運動は空氣厚薄の變に生ずる風の流通に類するものあるが如し昔時は商業家の眼界も狭く金融物價の風勢は單に一地方に因りて定まり測候の法も至て不行屬なりしかども人事進歩して交通次第に開くるに隨ひ各地の天氣を参照して更ニ其豫報を得ると一般、商業家も眼界を廣くして商政現在の變を知り又その變の來る所を察し因りて未來の風向を豫測するも最も肝要あるに至れり試に近日海外商政上に現はれたる事實を見るに事、萬里の外に在りて極東の我が日本國には其影響を及ぼさざる可しと思ひの外、商家遠大の眼を以て見れば迅速變遷の差はあれども直接間接異常の關係あるもの如し例へば米國大藏大臣ウィンドム氏が無券發行方案を出して近々實行の運びに至る可しとの取決ありや世界の銀相場は昨今大影響を受けたるもの如く現に我國に於ける外國為替相場も本月十九日倫敦茶着拂三シリング三三三の五分五云へる高直を呈し前々に比して殆んど三三三の購買を致したる程の次第にして今後イヨク此方案の實行を見る可きや又その實行後の影響如何は外國取引に従事する商人の最も關心すべき所ならん又今回英國に於て茶一割に付二ヘンズ宛の減税を爲す可しとの方案あり出納尙書ゴッシュン氏が之を下院に披露したるが如き亦是れ我が商業者の注意すべき所にして從來英國の人民は其價の廉からが爲めにや印度茶を飲用するもの甚だ多く隨て其輸入額も莫大なれども茶税低減などの機會に乗じて日本茶の販路を同國に廣むるの望みはなきや其邊の穿鑿も亦之を忽かせにす可らず特に先般露國にて露血宰相の辭職あり之れに續てカプリ、ゾ、將軍の地位に上りたるは就ては今後我が商人が一層外國の事情に注目せざる可らず申すは他に非ず歐洲外交政略上、英、伊三國の同盟はヒスマルク侯の外交路上、一方は佛國の廣を割し一方には露國の財を奪せんとするの苦心に出でたる者にして今の伊太利大宰相クリスピノ氏も亦一癖ある人物あれば往時伊太利建國の際ナポレオン三世の救助を假りて辛うじて國の復讐を免

かれ國命を正に絶たんとするに際する其大恩を思てせしめて獨逸と相結托せしを以て佛國人の激怒一方あらす前年佛國政府にて伊太利生絲の關稅を増課したるは其怒氣の商政上に顯はれたる者にして歐洲外交風の吹き廻はしに因り爾來我が生絲業に從事する者は偶然にも餘福を占むるふとを得たり殊に昨年の巴里大博覽會には伊太利政府の手に因りて出品したる生絲なきが故に一個人若くは一會社にて勝手に陳列したる者あるも同博覽會の規則に於て人民勝手手出品は其實價を與ふふとを許さず之が爲めに我が生絲は各國出品中の第一位を占め中に富麗製絲絨の出品の如き金牌よりも一層優等なる賞牌を得たりと云ふ國の爲め誠結構ありと雖も今や三國同盟の主謀たる彼のヒスマルク侯は退職して獨逸の樞軸を握るものは即ちカプリゾ將軍なり蓋し外交上に於てはヒスマルクの勢力、雖然猶ほ存するふとならん雖も人異なりて其政略も隨て變じ今後一日擲、伊二國の外交も亦漸く變遷せんとする其途端に或は伊、佛舊交を温め彼の生糸の課稅の如きも曩には敵愾を示すが爲に増し今度は友誼を示すが爲めに減するやうの事情と爲らば我が生糸業者に對して非常の影響を及ぼす可きが故に心ある營業者の人々此邊の事情にも注目せざる可らず又内國の商政も次第に外國との關係を増して商賣の區域を廣めんとするの趣あるは是れ亦今日の實勢として近世世上の問題たる彼の米商會所に於て外國米を格付表に加ふるの脱の如き急々之を實行したれば米商賣の區域を廣むるも勿論にして今後米商賣の見込を立つるものは日本國內の豊凶を知り西貢、ベンゴール等南亞細亞の相場をも知り或は之を輸出せんとすれば英國倫敦、澳洲シドニー等の市場も米價の高低する割合をも知り爰に始めて其買賣を爲さざる可らず之を要する人人事進歩して隨て商業の局面を大にし其全面を一望して隔々迄も見通しを附け急務緩急、落子の機轉を誤まらざらんとするには十分なる智慮才覺を要す可きが故に今後の商人たる者は眼界を小部分に限らずして遠く其地平線を廣げ書籍に因り新聞紙に因り將た人の實話に因り或は自から海外に至りて商狀觀察の結果に因り其他種々の方便に因りて商賣上の智識を求むるに區域の廣さを期せざる可らず歐洲外交の抑揚が日本の商政に響應して著々其利害を顯かさんとする今日、商業家の眼界を豆大なる桃源郷に限り落花流水別小天地を劃するが如き文明商人の事に非ずと覺悟す可きものあり

海軍

○清國海軍の擴張 此程直隸總督李鴻章伯が北京に上りしは本月四日清帝及び皇太后に從て東院へ參向する爲めあらんと雖も伯は常に國事に心を勞する人物あれば今度上京の序でに恭、醇二親王を始め總理衙門の大員等と相會し海軍の事務に關して詳論し先づ海軍は重きを南洋に置き統帥の權限、艦隊の堅固並に機兵の訓練等一層注意せざる可からずと述べたるよし抑も

世人の知る如く北洋艦隊は李伯の監理する所にして英國海軍大佐ワング氏を顧問とし艦隊運用の法、水兵操練の技より大砲、水雷、機關に至るまで能く熟識せるは氏の力多きに居れり而して南洋艦隊の有様を見れば北洋に比較するに足らず其然る所以を尋ねれば蓋し南洋は李伯の如く海軍擴張に熱心なる人物なきが爲なるべし然るに近來南洋の軍備を擴張せざる可からずとの議論盛んとして兩廣總督李瀚章氏も亦其軍備に注意し多少欠點を發見したる所あるにや兼て北京政府に上申して銃砲を備へ量數を固め水兵の操練を巧ならしむるのみならず南北兩艦隊の規律を一にして又は學力優等生を海外に派遣し他國の軍法を研究せしむべし云々と述べたり氏は亦通日ワング氏を省城の私邸に招き彼を懇談しより云ふ又今般我日本に於て海陸軍大演習の備あるや東京駐在の清國公使黎氏より録り李伯の許に報知して北洋水師の旅艦及び其他一軍艦を日本に派出し實況を觀察せしむべしと述べたれども折から南洋各港に向け出立せし後にて我國に來るを得ざりしかば同公使は演習の實況を參觀して北京に報知したるよし

○機務は益少く損多し 海外より輸入し來る品物を機務して此方より運送し輸出せんとは内國の商人が各々其向々の業を對して常に心懸くる所なれども概して新しき仕事に慣れざる爲めにや手際よく機務するも中々容易ならず好しや寸分も違はぬ様に拵へ得たりとするも手間賃やら入費やら意外に堆み賣直の一段に至りて遙かに輸入品に及ばざるより運も運送を仕掛るもとるは覺束おしとて孰れの商賣人も嘆息し居る所なるが此頃も或る金屬商の語に據れば蠟マツチを入れたる金の箱の如き海外より運々輸入し來りたるにも拘はらず東京にて普通の小賣商段大抵一個三四錢位を過ぎず然るに此方の手にて之を製造せんとするには手間隙のかかるは勿論仕上げる後之を精算するも安くは積りても其箱のみにて十二三錢位に賣らざれば割に合はぬなり左れば今日の處にて彼れ此れ苦心を積り輸入品に機務するは先づ以て益少く損多しと云へる有様なり然かのみなならず外の品物はイザ知らず金屬品は彼れに



南京本發使米商八州相場漸欲狂、水

時事新報